

I-1 事業の概要

事務事業名	地球温暖化対策市役所率先実行部門	所管局部課等	環境政策局環境企画部環境管理課、 環境政策局地球温暖化対策室
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.jp/kankyo/envm/kanri/EMS/EMS_index.html	(連絡先)	213-0930
		(評価票作成者)	環境管理課長 宇高史昭

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価
1,293	3,668	現状のまま継続	3,577	指標： 京都市役所全体の温室効果ガス排出量
業務運営方法	☐ 直営 ☒ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 委託先：株式会社日本環境認証機構（環境マネジメントシステムに関する内部環境監査員養成講座等） 特定非営利活動法人KES環境機構（内部環境監査レベルアップ講座） 株式会社島津テクノリサーチ（排水水質調査業務）		かなり悪い悪い普通良いかなり 0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%110%120% H20年度 H21年度 H22年度
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	京都市地球温暖化対策条例、京都市地球温暖化対策計画、ISO14001（環境マネジメントシステムの国際規格）、KYOMS環境マネジメントマニュアル、京都市役所CO2削減アクションプラン			事務事業の性格 ☐ 義務的事業 ☒ 任意的事業
開始時期	平成14年度	終了(予定)時期	平成 年度	類型 11 その他
				会計区分 ☒ 一般会計 ☐ 特別会計

事業概要	対 象	(誰を、何を) 「京都市役所CO2削減アクションプラン」は、京都市全職員。本市独自の環境マネジメントシステム（KYOMS）は、市役所本庁舎、消防局本部庁舎、上下水道局本庁舎、交通局本庁舎及び区役所・支所職員
	活 動 容	(どのような手段で) 事業所としての市役所における、地球温暖化対策の率先実行計画である「京都市役所CO2削減アクションプラン」に基づき、本市の事務及び事業から発生する温室効果ガスを削減する。また、ISO14001等の環境マネジメントシステムを活用し、環境負荷の低減や環境保全への取組の推進を図っている。 市役所本庁舎、区役所等では、平成21年9月からはISO14001に代わり、ISO14001規格を準用した本市独自の環境マネジメントシステム（KYOMS）を運用し、より効率性、実効性のある取組を進めている。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) 職員自らが率先して省エネ、省資源、ごみの減量及びリサイクル等の取組を推進することにより、市役所から発生する温室効果ガス排出量の削減を含めた環境負荷を低減するとともに、市民・事業者の取組の推進につなげ、市内から発生する環境負荷を低減する。また、取組成果を市民に公表することにより、本市の環境行政に対する信頼性を高め、更なる施策展開に結びつける。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	4,604	971	1,293	3,668	3,577
		使用料及び賃借料(会場使用料)		4	18	96	96
		需用費(資料印刷等)	133	154	488	355	360
		その他(資料郵送費, 委員謝礼等)	6	249	114	630	921
		備品購入費				1,900	1,700
	①'	委託料(審査登録(H20年度まで), 研修等)	4,465	564	673	687	500
	②	委託料が事業費に占める割合(①'÷①)(%)	97.0%	58.1%	52.0%	18.7%	14.0%
	③	人件費(24年度は見込)(千円)	7,927	7,796	11,181	13,882	13,882
		職員(課長級)(人)	0.11	0.11	0.11	0.14	0.14
		職員(課長補佐級、係長級)(人)	0.30	0.30	0.45	0.40	0.40
		職員(係員)(人)	0.40	0.40	0.65	1.00	1.00
		嘱託職員等人件費(千円)					
	④	年間経費(①+③)(千円)	12,531	8,767	12,474	17,550	17,459
	⑤	特定財源(市税等の一般財源以外)(千円)	386				
		国庫・府支出金(千円)					
受益者負担分(使用料, 手数料等)(千円)							
その他(ISO審査経費上下水道局交通局負担分)(千円)		386					
⑥	京都市年間負担経費(④-⑤)(千円)	12,145	8,767	12,474	17,550	17,459	
⑦	受益者負担率(受益者負担分÷④)(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

Ⅱ 評価結果

事業名 地球温暖化対策市役所率先実行部門

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	京都市役所全体の温室効果ガス排出量	目標値 …①	t	420,000	389,348	378,133	検討中	
		実績値 …②	t	394,114	373,563	387,053		
		目標達成度 (②÷①)	%	106.2%	104.1%	97.6%		
	指標の種類	減少することが良いとされる指標		評価	かなり良い	かなり良い	良い	
指標2		目標値 …①						
		実績値 …②						
		目標達成度 (②÷①)	%					
	指標の種類			評価				
			総合評価					
指標の選択理由				目標値設定の考え方				
指標1	「京都市役所CO2削減アクションプラン」に掲げている目標であるため。			「京都市役所CO2削減アクションプラン」に基づき、平成22年までに平成16年比で15.1%削減することを目指して設定している。平成23年度以降の削減目標については、新たな市役所率先実行計画の中で設定す				
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位		
指標2								
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位		
分析	<実績値の変動理由等>							
B 効率性	No.	区分			単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	京都市役所全体の温室効果ガス排出量			t	394,114	373,563	387,053
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）			千円	12,531	8,767	12,474
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	32	23	32
	④	単位当たり経費変動率					-26.2%	+37.3%
				評価	かなり良くなった	かなり悪くなった		
分析	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の経費が増加したため効率性が悪くなった。							
C 市民参加度	企画段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	<現状分析、今後の方針等> 市役所内の取組である。KYOMSでは、システムの信頼性及び透明性の確保を図るため、第三者確認審査会を設置しているが、その会は専門的な資格を有する者や高度な専門知識を有する学識経験者により構成されている。					
	実施段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無						
	評価段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無						
D 市民満足度	<調査の有無>		<調査結果、現状分析等>					
	☐ 有 ☐ 無 ☒ 該当しない							
	<調査方法>	<調査時期>						
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	■ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般		<現状分析、今後の方針等> 小規模な本市直営事業所等を対象にKES認証取得の取組を強化する。					

平成23年度の実施状況

- ・「京都市役所CO2削減アクションプラン」の実施状況を取りまとめるとともに、新たな京都市役所地球温暖化対策率先実行計画の策定を進め、継続した温室効果ガス削減に努めている。
- ・京都市独自の環境マネジメントシステム（KYOMS）を運用し、内部環境監査の実施（11月）や第三者確認審査会（1月31日予定）を開催し、システムの信頼性及び透明性の確保に努めている。

市会・監査・外部機関等からの指摘

特になし

Ⅲ 今後の方向性

現状のまま継続	(今後の方向性の理由及び具体的な内容)	
	市役所の全ての事務事業を対象とした、新たな京都市役所地球温暖化対策率先実行計画を策定し、対策の充実・強化を図る。 京都市役所オフィス系関連庁舎では、独自の環境マネジメントシステム(KYOMS)の運用を行い、より効率性、実効性のある取組を進めていく。	